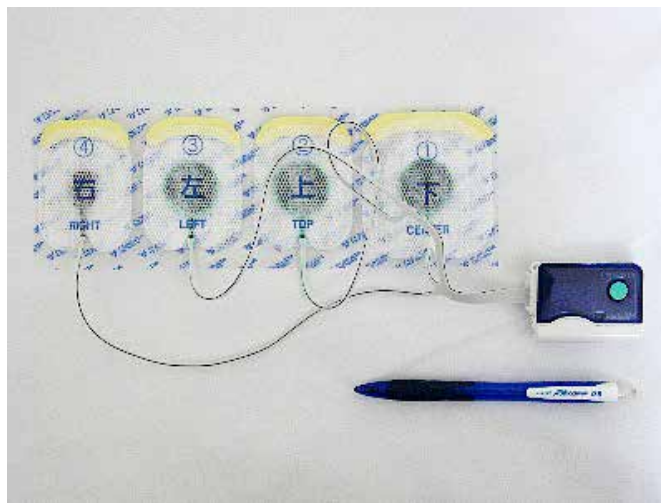


ホルター心電計

普段通りの生活をしていただき、その間(24時間)の心電図を記録します。
これを解析して心臓の動きを観察する検査です。長時間記録することにより、心電図、負荷心電図では見逃されがちな異常が見つかりやすくなります。



■ ホルター心電図とは

日常生活で不整脈や心筋虚血がどのような時にどれぐらいの頻度で起きているか、あるいは、症状(動悸、息切れ、めまい、胸痛、意識消失等)が心臓に原因があるのかが分かります。不整脈の診断や治療の効果の判定、また、ブルガダ症候群の診断材料となります。

■ 検査の流れ

- 1) 上半身裸になります。
↓
- 2) 胸部(4箇所)に電極を貼り付けます。
↓
- 3) マッチ箱サイズ(41×54×16mm)で約50gの重さの心電計を携帯ケースに入れて首にかけます。
↓
- 4) そのまま服を着ます。
↓
- 5) 約24時間携帯したまま普段の生活をしていただきます。

■ ホルター心電計の注意事項

- 24時間つけたままなのでその間はお風呂やシャワーは入れません。
- 24時間の主な行動を記録カードに記入していただきます。
- 心電計は精密機器ですので、落としたり、つぶしたりしないでください。